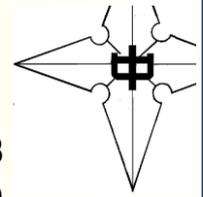


南浦和中だより



〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909

『季節の中で』

校長 おおこうちのりかず 大河内 範一

桜の見頃と学校行事のタイミングがなかなか合わない。毎年、校庭の桜をやきもきしながら眺め、開花予想を注視しつつ、卒業式か入学式のせめてどちらかには見頃を調整してほしいと切に願うものの、桜のほうはまったくお構いなしで、今年も満開は春休み中の人がまばらな時季であった。とはいえ、桜の美しさは春の風物詩であり、人々がこれほどまでに心を動かされるのは、桜のピンク色に秘密があるといわれている。ピンク色は、愛情、優しさ、幸せなどのイメージがあり、緊張を和らげて優しい気持ちを引き出したり、愛情や思いやりをもたらしたりする効果があるとされているのである。桜餅を食べて桜茶を飲むと、穏やかな気分になれるかもしれない。

学校の正門付近に目を向けてみると、愛情たっぷりに育てられた春の花々が咲き乱れている。「咲いた～、咲いた～、チューリップの花があ～」というフレーズで始まる童謡でお馴染みのチューリップは、色によって花言葉が異なっているのでおもしろい。童謡に登場する順に挙げてみると、赤は『家族への感謝』、白は『純粹』。ただ、黄色になると『望みのない恋』で、ヨーロッパではかつて黄色を裏切りの色とみなす文化があったとのこと。黄色は明るく素敵な色なので、ちょっと悲しい。ちなみに黒に至っては『私を忘れて』という、とんでもない意味になる。迂闊にプレゼントしてしまうと恐ろしい結末が待ち受けているので、お互い注意したいものである。

話を戻すと、カラフルなサフィニアも満開で、豪華にあふれるように咲いている。「園芸界のホープ」と言われ、ガーデニングファンに愛されており、寄せ植えの主役になっている。ちなみに花言葉は『咲きたての笑顔』。夢と希望あふれる新年度を迎える私たちにとって、最もふさわしい言葉であろう。毎日校門を通過するのが楽しみになる。

色鮮やかな春の花々と空の青さが相まって、素敵な季節の到来が感じられる。さあ、みなさん、めぐりめぐる季節の中で、何かを見つけていこう。飛び交う鳥のように翼を広げて、高く強く羽ばたいていこう。

さて、私は、この4月に南浦和中学校に着任いたしました。前任の校長と同じく、専門教科が美術なので、学校を美しく色鮮やかに彩っていくことが大好きなのです。アートのパワーを駆使しながら、安心・安全で明るい環境づくりを推進していきます。また、学校の様子をタイムリーにお伝えできるように、積極的に楽しい情報を発信していきます。生徒の皆さんが心地よく集う学校、保護者の方々から信頼される学校、そして地域の方々から愛される学校になるように、教職員一同、全力でそして爽やかに頑張ってまいります。南浦和中学校のよさや伝統を生かしつつ、さらなる歴史と一緒に創っていきましょう。1年間どうぞよろしく願いいたします。